WILL（ウィル）とは、『意志』という意味です。強い「意志」を持って
未来へと繋（つな）がる 新しい町づくりに取り組みます。

WILL 小亀重喜氏を支援する会からのお便り

小亀しげき後援会だより“ウィル”平成19年（2007年）新春号

支援する会 事務所/住所:〒766-0023 まんのう町吉野3410 TEL:0877-79-2779
ホームページ（kamechanのブログ）… http://ameblo.jp/blog-kamechan/

新しい町に「新しい風」を！

皆様からお力添えを賜り、新町誕生とともに町政登壇が叶った**小亀しげき**。後援会一同、常日頃の感謝に併せ、新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。旧年中は**小亀しげき**に対しまして過分のご支持・ご支援を賜り、有難うございました。本後援会便りの紙面にて、心より厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返り、全国を見渡せば、自治体の破綻や行政トップの不祥事等が相次ぎ、政治不信、官公庁への信頼感が大きく揺らいだ一年ではなかったでしょうか。また一方では、地方分権への勢いはますますスピードを増し、以前のような横並び的な自治体運営は許されない厳しい時代が到来しています。そのような状況の中で、三町合併により歩み始めた新町「まんのう町」も発足後はや十ヶ月が経ちました。眺めれば、新町としての枠組み／土台を固めるため、まだ試行錯誤の段階のように見受けられますが、**小亀しげき**は、果敢に執行部への提言を重ね、町議会において、着実にその存在感を高めています。

どうか本年も**小亀しげき**に対し皆様方からの旧倍の温かい御支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。併せまして皆様方にとって幸多い一年となりますことをお祈り申し上げます。（後援会一同）

この後援会だよりについての
ご感想や**小亀しげき**へのご意見・ご要望
をお聞かせ下さい。下の葉書を切り取って
お使い下さい。（切手は不要です）

「自立した町」に！

皆さん、小亀重喜です。謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃のご支援、本当に有難うございます。昨年の4月以降、大きな期待を背に受け、頑張ってきましたが、私、小亀重喜の活動は皆さんの目にどのように映っておりますでしょうか？ 6月、9月、12月と、3度の定例会を経て、議会の役割や議員の使命を（少しずつではございますが）深く理解して参りました。

選挙の際に、これまで全国各地で定番のように唱えられてきた「地域住民と行政とのパイプ役」という言葉…今こそその言葉に本当の意味を持たさなければならないと感じています。昨日と同じ明日が来るなら、そして原資（お金／予算）がふんだんにあるなら、議員のシゴトは従来のように各地域・各業種に特化した「陳情団長」でよかったのかもしれません。しかし、行政のスリム化をはかり緊縮財政を実現するには、地域の事情を十分に把握しながら、それを全体観の中で位置づけるという機能が不可欠であり、それこそ議会議員のミッションであると考えます。

住民自治を論じる時、自分たちで出来ることは自分たちで（自助）、隣近所で出来ることは隣近所で（共助）、そして自分達でも、隣近所でもできないことを、公的機関／枠組みの中で取り組んでいく（公助）…「補完性の原理」という言葉があります。「自立した町」を実現するには、我々住民も、共に助け合い、創意・工夫を行い公的サービスの軽減化をはからなければなりません。その代わり、行政が担うべき役割は、これまで以上に徹底してやってもらうという考え方が明日の地域づくりには不可欠だと思います。

思い返せば、昨年の今頃、「しっかりと！はっきりと！」…このスローガンを掲げ、皆さんに思いを伝えるべく町内を周らせて頂いておりました。もちろん、今も、志（こころざし）は変わっておりません。未来に繋がる町づくりを目指し本年も前進します。どうか相変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

（小亀重喜 記）

切り取り線

料金受取人払
琴平局承認
12
差出有効期限
平成19年6月
30日まで。
（切手不要）

郵便はがき

7 6 6 - 8 7 9 0

（受取人）
香川県仲多度郡
まんのう町吉野3410番地

小亀重喜氏を支援する会
後援会事務所 行

切り取り線

※お手数ですがご記入下さい。

ご住所 〒			
お名前 男・女			
TEL		FAX	
E-mail	@		